

あけましておめでとうございます。

旧年中は、大変お世話になりました。  
今年も引き続きご愛顧賜りますよう  
お願い申し上げます。

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

お得意先様の BCP（事業継続計画）のご参考にさせていただくための『リスク診断サービス』を本年より始めます。お客様の建物、施設の中に潜んでいる火災リスクについて、消防法並びにその解釈と過去の事故例などのデータベースを参考に洗い出し、BCP 作成時のご参考にさせていただく 診断サービスです。

特に危険物の扱いについては、許可施設におかれては、国家試験を合格され危険物に対する知識を持たれた危険物取扱者が消防署の指導の下、きっちりとした管理がなされています。しかし、少量危険物にも満たない危険物を扱われているところでは、いつのまにか扱い量が増えていたりすることがあります。防火管理者様も日頃から注意をされておられますが、時間の制約上、細かなところまで見切れないといったご相談を頂戴したこともございます。

一方、平成21年6月より施行されました、大規模な防火対象物（5万㎡以上等）に対する『防災管理点検』の実施の折に、防火管理、危険物の管理も含めて点検を実施したところ非常に好評を得ておりました。そこで、対象以外のお得意先様でもこのような点検ができないものか検討を重ね、今年より『リスク診断サービス』を始めることとしました。

ただし、法律で定められた点検は予算がとりやすいが、そうでないものは取りにくい との昨今の状況より、お得意先様に限り、無償にて『リスク診断サービス』を行います。

基本的に、消防設備点検時にリスク診断員を1名一緒にまわらせていただき、診断をいたします。

素晴らしい消防設備や防火設備（システム）が設置されていても、災害が発生したときにその機能を十分に発揮させて被害を最小限に抑えられなければ意味がありません。それには、日頃からの確認や訓練（ソフト）の充実、さらに予防活動（火災リスクを摘み取る）が欠かせません。

『お客様が火災・災害にあわれたとき、損害を最小限におさえるためのシステムおよびソフトを提供できる企業』の方針のもと、消防設備の工事・点検といったシステム面と日頃からの訓練のお手伝いや、予防活動、最新の消防法のご提供、防火・防災管理のご相談などのソフト面を充実させ、お客様の消防業務のフォローアップに満足いただけるように努力を積み重ねてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

平成27年1月

初田防災設備株式会社  
代表取締役 中前秀夫





『 威 容 』